

DATA：皮膚科

- 皮膚科専門医研修施設
- 主な対象疾患：湿疹・皮膚炎群、蕁麻疹・痒疹、紅斑・紅斑症、薬疹・中毒疹、皮膚血管炎、うつ滞性皮膚炎などの脈管疾患、熱傷（広範囲な重傷熱傷は除く）、褥瘡などの皮膚潰瘍、水疱症・膿疱症、角化症、色素異常症、脂肪織炎、付属器疾患、母斑、皮膚良性腫瘍・悪性腫瘍、ウイルス感染症、細菌感染症、真菌感染症、性感染症、昆虫による皮膚疾患など

経験豊富な専門医が全身を診る

当科は常勤3名、非常勤2名体制で、うち4名が専門医を有しています。年間外来患者数は初診・再診合わせると10,000名にのぼり、入院、手術ともに年間200件以上対応しています。疾患別では良性・悪性問わず腫瘍が約3割を占め、続いて感染症、湿疹・皮膚炎、蕁麻疹となり、症例数の少ない自己免疫疾患や皮膚潰瘍にも対応するなど、地域基幹病院と専門病院の両側面を担う治療を行っています。

地域基幹病院として、市川地区の皮膚科で入院治療が可能な施設は当院のみです。皮膚感染症、重症皮膚炎、薬疹・中毒疹などの緊急対応、入院治療は当科の重要な役割のひとつです。素早い対応により病状が落ち着き次第、可能な限り紹介医に逆紹介する病診連携の流れを重視しています。

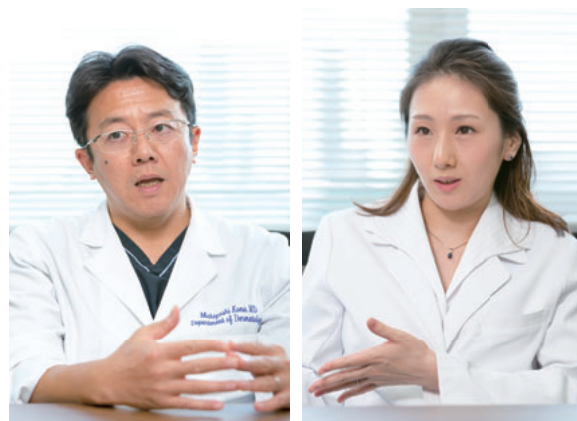
そのほか診断・治療困難な皮膚疾患の皮膚生検、蛍光抗体法検査やパッチテストなどのアレルギー検査、エキシマライトによる紫外線照射や乾癬の生物学的製剤治療など診療所では実施困難な検査、治療も当科の重要な役割です。とくに生物学的製剤治療は、薬剤の使用にあたって副作用や合併症などのリスクに対する知識を持った専門医が常勤であること、急激な副作用に迅速に対応できる施設であること



皮膚所見で診断可能。皮膚科専門医の底力

となどが条件にあり、当院はその条件を満たし、皮膚科学会より施設認定を受けています。

また、皮膚疾患は、局所的、外因性のものから全身性、内因性のものまで幅広く、加えて頭の先から足の先までの全身の皮膚を診療することにおいても他科との連携は必須です。そこで当院の特長でもある歯科大学附属のメリットを最大限に活かした国内のみならず世界でも数少ない専門外来を紹介します。



専門外来：粘膜疾患外来

歯科・口腔外科と皮膚科が同時に相談しながら診断・治療を進める粘膜疾患外来の体制は、世界初の試みです。扁平苔癬や自己免疫水疱症、難治性口内炎などの粘膜疾患は肉眼所見と病理学的所見から診断していきませんが、ステロイドや免疫抑制剤などの内服治療は皮膚科で行い、口腔粘膜生検などの口腔内検査や歯科治療、粘膜病変の外用治療などの局所処置、口腔ケアは歯科・口腔外科が対応することで、ひとりの患者様に対して相互の知識を有効に活用し、正しい診断と最善の治療を行うことが可能になりました。今後は粘膜疾患における新たな検査法や治療法の開発を視野に、臨床研究さらには基礎研究まで含めた連携を行う予定です。

専門性は高く、診療科の垣根は低く

皮膚科

専門外来：掌蹠膿疱症

掌蹠膿疱症は原因不明の全身疾患で通常の外用療法ではなかなかよい効果が得られません。喫煙が悪化要因で、扁桃炎、副鼻腔炎、歯周炎などの病巣感染が原因となることが多く、ときに歯科金属アレルギーが原因となることもあります。これらの検査、治療のため、歯科・口腔外科、耳鼻咽喉科と連携して診療しています。また、胸鎖関節や脊椎などに関節炎を合併することも多く、内科（リウマチ）、整形外科との連携も重要です。症例によっては、関節リウマチに準じた治療が必要な場合があります。

形成外科とも緊密な連携

腫瘍切除は皮下脂肪までを担当し、それ以上の深度や整容面が重視される部位、合併症が起きやすい部位では形成外科とも緊密な連携手術を依頼しています。その際、切除した腫瘍の病理組織所見は必ず皮膚科のカンファレンスで確認し、適切な診断かどうかを判断しています。また、術後の欠損部再建のための植皮や皮弁においても形成外科医の協力を得て、より美しい術後になるよう連携しています。総合病院であることを活かし、診療科の連携によって質と患者満足度の高い治療を追求しています。

患者様紹介について

皮膚疾患は高齢者の有病率が高く、日常診療や在宅でも発見されることが多い疾患です。長引く症状は、別の疾患が隠れている場合もあるので、専門医のいる当科へご紹介ください。またアトピー性皮膚炎などの教育入院で連携が必要な症例もご相談ください。掌蹠膿疱症、粘膜疾患外来の専門外来は、診療日が決まっています。ご予約の際に確認いただければ幸いです。

また、勉強会、講演会などを通して地域の先生方と交流させていただき、お互いに顔の見える関係になりたいと考えています。市川市皮膚科医会（医師会の医師対象）の講演会、東葛南部皮膚疾患勉強会（皮膚科医および他の診療科医師対象）、褥瘡セミナー（市病褥瘡委員会主催、東葛南部褥瘡ケアフォーラム：船橋、浦安地域との連携）にも、是非ご参加ください。

information

市川リレーションシップカンファレンスを開催します

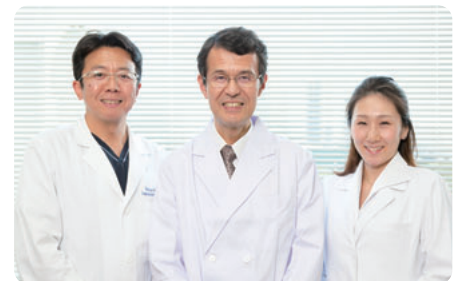
地域のみなさまに安心して医療を受けていただくための体制構築に向けた、東京歯科大学市川総合病院と地域の先生方を結ぶ新たな取り組み“市川リレーションシップカンファレンス”。紹介・逆紹介においてそれぞれの専門性を最大限に活かせるように、相互理解を目的としたカンファレンスです。

- ❖ 日程：平成29年3月1日(水)
- ❖ 時間：19:30～21:00
- ❖ 場所：東京歯科大学市川総合病院 角膜センター3階会議室

東京歯科大学市川総合病院 皮膚科診療の現況

- 1) 急性期、基幹病院皮膚科の役割 一求められる病診連携一
- 2) 皮膚科特殊外来の紹介：掌蹠膿疱症、乾癬の生物学的製剤治療、アレルギー検査など
- 3) 世界で唯一の粘膜外来 一皮膚科医、歯科口腔外科医、歯科衛生士によるチーム医療一

みなさまのご参加、お待ちしております。



皮膚科 講師
河野 通良

皮膚科 教授
高橋 慎一

皮膚科
鈴木 さつき

医療機関の先生方へ

市川総合病院 診療情報提供書

検索

当院と地域の病院・診療所の先生方との間で、患者様のご紹介などを円滑に行えるように、「地域連携・医療福祉室」を設置しています。ご不明な点がございましたら、下記へお尋ねください。

地域連携・医療福祉室 TEL 047-322-0151(内線2214) FAX 047-324-8539(直通)

開室時間 月曜日～金曜日：午前9時～午後5時 土曜日：午前9時～午後1時(第2土曜日は休診日)